

表1 ダイアログシート（記入例）

欄	選択事項、記入事項															
1	観測地点の緯度LA°（°）、緯度LA'（分）、経度L0°（°）、経度L0'（分）、標高H（海拔m）を記入します。															
	LA°	35	LA'	41.4	L0°	139	L0'	45.6	H	35.1						
2	お持ちの気象要素に○をつけます。															
	<input type="checkbox"/>	外気温	<input type="checkbox"/>	相対湿度	<input type="checkbox"/>	全天日射量	<input type="checkbox"/>	風向(16)	<input type="checkbox"/>	風速	<input type="checkbox"/>	降水量	<input type="checkbox"/>	気圧	<input type="checkbox"/>	大気放射
								風向(32)							夜間放射	
								風向(360°)							雲量	
															日照時間	
3	気象データの時間間隔に○をつけます。															
	<input type="checkbox"/>	1時間	<input type="checkbox"/>	30分	<input type="checkbox"/>	10分	<input type="checkbox"/>	5分	<input type="checkbox"/>	1分						
4	データの開始西暦年、月、日を記入します。															
	年	2015	月	1	日	1										
5	データの開始西暦年、月、日を記入します。															
	年	2015	月	12	日	31										
6	データを提供していただく方法を以下の2つから選びます。															
	<input type="checkbox"/>	表2『ユーザデータ』に指定されたフォーマット通りに作成して提供する。														
	<input type="checkbox"/>	提供したデータをフォーマット通りに作成する作業も依頼したい。														
7	補充する気象データ等の記号を選択して○をつけます。○は複数でもかまいません。各記号の意味は『変換が可能なデータ等の一覧』を参照してください。															
	<input type="checkbox"/>	1a	<input type="checkbox"/>	1b	<input type="checkbox"/>	1c	<input type="checkbox"/>	1d	<input type="checkbox"/>	1e	<input type="checkbox"/>	2a	<input type="checkbox"/>	2b	<input type="checkbox"/>	2c
		3a		3b		3c		3d		3e		4a		4b		4c
		4d		5a	<input type="checkbox"/>	5b	<input type="checkbox"/>	5c	<input type="checkbox"/>	5d	<input type="checkbox"/>	6a	<input type="checkbox"/>	6b	<input type="checkbox"/>	6c
		6d	<input type="checkbox"/>	7a	<input type="checkbox"/>	7b	<input type="checkbox"/>	8a								
	<input type="checkbox"/>	9a		9b		9c		9d								
	変換が可能なデータ等の一覧															
	1	湿度	a	絶対湿度	2	日射	a	直達日射量	3	照度	a	天頂輝度				
			b	湿球温度			b	天空日射量			b	グローバル照度				
			c	露点温度			c	斜面日射量			c	直達照度				
			d	水蒸気圧							d	天空照度				
			e	エンタルピー							e	斜面照度				
	4	PAR (光合成有効放射)	a	PAR	5	紫外線A	a	紫外線A	6	紫外線B	a	紫外線B				
			b	直達PAR			b	紫外線A直達			b	紫外線B直達				
			c	天空PAR			c	紫外線A天空			c	紫外線B天空				
			d	斜面PAR			d	斜面紫外線A			d	斜面紫外線B				
	7	地表または 地中温度	a	地表面温度	8	積雪深	a	積雪深								
			b	地中温度												
	9	フォーマット 変換	a	HASP形式	c	BEST形式										
			b	AE-SimHeat形式	d	EnergyPuls形式										
	(1)	直達日射(2a)と天空日射(2b)の計算には特に指定が無ければPerezモデルを使用します。Perezモデル以外を希望される場合は、以下の中から選んで○を付けてください(Erbsモデル、○渡辺モデル、 宇田川モデル、 永田モデル)。なお、斜面日射量の計算にはPerezの方法(anisotropicモデル)を用います。														
	(2)	2c、3e、4d、5d、6dの斜面を表すには、面の方位角と傾斜角が必要です。これらを選択された場合は方位角、傾斜角を記入するフォームをお送りします。														
	(3)	7の地表面温度、地中温度を選択された場合は、地表面及び土壌の熱物性、地中深さを選択するフォームをお送りします。														

① 欄2の風向は16方位、32方位、360°のどれかひとつに○をつけます。

② 欄2の大気放射、夜間放射、雲量、日照時間は、もし大気放射または夜間放射があれば、どちらかに○をつけます。もし大気放射、夜間放射がなく、雲量又は日照時間がある場合はどちらかに○をつけます。

③ 欄4と欄5によって規定される期間は、最短で原則1か月とします。

④ 欄6のデータの提供方法は、できるだけ『表2に指定されたフォーマット通りにエクセルで作成して提供する。』を選択し、お客様が作成してください。この作成には、弊社がお送りするエクセルの入力シートをお使いください。『提供したデータをフォーマット通りに作成する作業も依頼したい。』を選択した場合は別途その経費が必要となります。

⑤ ユーザデータの状況によっては、お引き受けできないこともあります。